

1997年度 第1回講演会

日時 1997年4月23日(水)

会場 名鉄ニューグランドホテル「扇の間」

講師 占いの玉手箱

代表 竹村亞希子 氏

◆◆◆竹村先生プロフィール◆◆◆

- 占いの玉手箱代表。スタッフは30名。占いをビジネス化し、イベント企画、新聞・雑誌・テレビ・ラジオ等の占いコーナー、講演、執筆も多彩にこなす。
- 創立以来、多くの経営者を観てきた経験から“ツキの人相、チャンスを掴める人相”を見極める達人となる。

テーマ「人相学からみたビジネス チャンスについて」

「占いは信じるものではなく、使うもの。占いが良く出たらチャンス、悪く出たら注意。情報源の一つとして旨く利用すればいい」と唱える竹村先生。出席者の中から数名の人をモデルにして、次のように講演をされました。



〈鼻の観方〉

● 横から見た鼻の形は、大別して図1のような3つのパターンがある。鼻の下側が鼻先に向けて上を向いているものAタイプ、水平のものBタイプ、下に向いているものCタイプである。

Aタイプの人はおだてに弱い。褒められると嬉しくなり、頼まれると断り切れない。だから、商品を売り込みたかったら、このタイプは褒めたくって頼み込むことだ。

Cタイプの人はおだてても無駄。褒められて嬉んでも取引は別。このタイプは正確な情報(商品や事柄)を教えてあげ、自分で納得いくようにすれば取り引きし、頼み事も引き

受けてくれる。

Bタイプの人AとCの中間だから、場合による。



図1. 鼻の横形3パターン

● 鼻の穴の大きさは度量を表す。穴が大きい人は稼ぐ稼がないは関係なく、やる事がデッカイ。だから、納得さえすれば大きな取り引きでもボンとやる。

一方、穴の小さい人は物事に対して慎重で冒険はしない。話を納得しても、商品を絶対に買うとは限らない。

● 尚、穴が奇麗に洗ってあっても、赤黒い色とか、煤みたい汚い時は凄く経済的に困難な状況の現れ。倒産や解雇前の社長、社員によくあるので要注意である。

● さて、人相学では顔全体が社会となり、小鼻の張り具合は社会進出を表す。小鼻の張っている人は物事に対して積極性があり、縄張りを獲得する。併し、鬼のように張り過ぎると戦争を仕掛ける。

又、小鼻の張っていない人は伝承タイプ。技術、文化、家など他の人から受け継いで、次の代まで守って渡す。冒険は絶対しない。

● さて、鼻筋に対して小鼻が水平だと腰筋は起らない。もし傾いていると、下がった方の骨盤が下がっていることになり、腰痛や足首に問題が起ってくる。

● 鼻の反りは背骨の反りを表す。上部がひどいと首・肩の張りや凝り(頸椎関係)、下部の場合は腰痛(腰椎関係)になる。

● 又、胃が悪くなると中央部が変色して、急性は赤色、慢性は黄土色か茶色・焦茶色となり、濃い色ほど状態が悪くなっていく。腸も同様で、位置が中央下部に表れる。但し、腸が悪くないのに変色したり、汚い色の場合は金欠病だ。